

再生可能エネルギー等イノベーション共創プラットフォーム
令和3年度分科会開催 議事メモ

1 分科会名	レアメタル回収研究分科会
2 日 時	令和4年1月13日(木)
3 場 所	佐賀大学理工学部8号館 5階 507国際環境科学セミナー室
4 参 加 者	<ul style="list-style-type: none"> ・岩尾磁器工業(株) 1名(対面参加) ・田口電機工業(株) 1名(オンライン参加) ・(株)西村鐵工所 2名(オンライン参加) ・(株)ミゾタ 1名(オンライン参加) ・室町ケミカル(株) 1名(オンライン参加) ・住友金属鉱山(株) 浅野 聡(講師) ・佐賀大学 15名(オンライン参加) ・佐賀大学 15名(対面参加) <p>計44人 (西九州化学工学懇話会関連の7名を含む)</p>
5 議 事	<ul style="list-style-type: none"> ・レアメタル回収研究分科会2021年度第2回セミナー 「湿式法による金属の分離技術」
6 開催結果	<ul style="list-style-type: none"> ・西九州化学工学懇話会との共催として講演会を開催しました。 ・日本を代表する製錬企業である住友金属鉱山株式会社の浅野聡様に企業の紹介、ならびに湿式精錬法について講演をお願いしました。浅野聡様は新居浜研究所に37年も継続勤務された実績をお持ちであり、湿式精錬法による金属分離技術の各論として浮遊選鉱法、溶媒抽出法、イオン交換法に関して説明いただきました。現在は技術本部で新入社員の教育も行っているということで、非常に専門的な説明も極めてわかりやすい例などを挙げて説明いただきました。 ・湿式精錬法の中でもなじみの薄い浮遊選鉱法について多くの質問がなされました。また、住友金属鉱山株式会社が環太平洋に多く鉱山を有する会社でその強みを持っているが世界の潮流としてリサイクルなど2次資源に移行していることについて質疑がなされました。 ・コロナ禍の影響の中での講演会で、対面とオンラインのハイブリッドで参加いただきました。
7 次回開催(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度に継続できれば、同様に湿式製錬、また金属資源系の講演会を開催し、情報提供に努めたい。



対面による住友金属鉱山株式会社の浅野聡様のご講演の様子

Yudai Tanaka (Saga Univ.) の画面を表示しています ビューオプション

低品位ニッケル、コバルト鉱石の処理技術(HPA)

HPAL : High Pressure Acid Leach (高圧硫酸浸出)
 これまで回収が難しいとされていた、低品位の酸化鉱からニッケルを回収
 当社は世界に先駆け、商業ベースでの実用化に成功。THPALとCBNC
 低品位の酸化鉱を高圧高温状態の硫酸と安定的に反応させることによ
 高品位のニッケル原料を生産している。

Coral Bay Nickel Corporation (CBNC), フィリピン

Taganito HPAL Nickel Corp

SUMITOMO METAL MINING CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

参加者 (28)

検索

- 大 大塚啓介 (私)
- YT Yudai Tanaka (Saga Univ.) (ホスト)
- fl fathia lovita farasi
- h h-kugimoto
- JO Juzo Oyamada(Saga Univ.)
- KI Kaori Inanaga (Saga Univ.)
- KS Kiko Shoyama (Saga Univ.)
- MY M. YADA (Saga Univ.)
- RA RENI ANGGRAINI
- s s-eto
- TT Takamuku, T. Saga Univ.
- TH Takanori Hidane(saga univ.)
- ミ ミゾタ士丹研一
- 佐 佐賀大学 兒玉
- 佐 佐賀大理工 古郷宏明
- 出 出水/産町ケミカル

オンライン配信の講演の様子